



NEWS RELEASE

2012年3月19日

報道関係者各位

株式会社フォーバル

ミャンマーに東南アジア 4 番目の拠点を開設 ～日本の中小企業の国際展開を支援するため拠点を拡充～

企業経営を支援する情報通信コンサルタント集団である株式会社フォーバル(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中島 将典)は、ミャンマーのヤンゴンに東南アジアで 4 番目の拠点となる駐在員事務所を開設しました。

■東南アジアの拠点を拡充

近年、日本では少子高齢化が進み、今後人口減少に直面する国内だけでビジネスを行っていても、十分な成長機会を享受することは難しくなっています。このような背景から、製造業を中心に、中国、タイ、インドネシア等のアジア諸国への進出が進んでいます。しかし、まだまだ大企業が中心で、中小企業においては進出のノウハウがなくハードルが高いのが現状です。

こうした中、当社は、5 億人を超える人口を抱える東南アジア諸国に特にフォーカスし、我々が海外進出のブルーオーシャンとして注目していたカンボジアに第 1 弾として現地法人を 2010 年春に設立し、日系企業、特に日本経済を支えている中小企業に対し、「進出前」から「進出後」までをトータルにサポートしてきました。

その後、カンボジアでの成功モデルを周辺国に展開するためにベトナム、インドネシアに進出しましたが、今回、東南アジアの拠点を更に拡充すべく、予想を超えるスピードで民主化が進み、今後、日系企業の進出ラッシュが期待されるミャンマーに駐在員事務所を開設し、今月より本格的に事業活動を開始します。

なお、現地での支援体制の充実・強化を図るために、早期に現地法人化する予定です。これにより、カンボジア・ベトナム・インドネシア・ミャンマーの 4 カ国体制が整います。

ミャンマーでの事業は、カンボジアでの成功モデルをベースに現地のニーズに合わせて展開する方針です。具体的には、ミャンマー進出を考えている日本の中小企業に対し、「進出前」では、マーケット調査、現地視察アテンドなどを通して、海外進出のフィジビリティスタディをサポートするほか、工業団地やオフィスの選定、現地法人設立 & ライセンス取得代行、現地マネージャー層の採用等、様々な各種アドバイスを行います。

また「進出後」は、バックオフィス業務のサポート(税務、労務、総務等)からOA・ネットワーク環

境等のITサポート、取引先開拓&セールスサポート、現地スタッフの採用等、複雑な海外進出を「ワンストップ」でサポートしていきます。

■ミャンマー連邦共和国概要

- 【面積】68万k㎡(日本の約1.8倍)
- 【人口】6,242万人(2011年、IMF推定値)
- 【民族】ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
- 【言語】ミャンマー語
- 【首都】ネーピドー
- 【名目GDP】約429億ドル(2010年度、IMF推定)
- 【通貨】チャット(Kyat)
- 【主要産業】農業



■駐在員事務所概要

- 【開設承認日】2012年3月6日
- 【代表者】三栗 敏
- 【所在地】unit 0506 SAKURA TOWER
339 Bogyoke Aung San Road,
Kyauktada Township, Yangon, Myanmar



株式会社フォーバルについて

企業経営を支援する情報通信コンサルタント集団である株式会社フォーバル(資本金:41億500万円、JASDAQ 上場【証券コード:8275】)は、中小・中堅企業を対象とした経営コンサルティングサービスや海外進出支援サービスのほか、ITを活用し経営を高度化・効率化する手段として、オフィス向けの光ファイバー対応 IP 電話サービスや FMC サービス(固定通信と移動体通信を融合したサービス)などの通信・インターネット接続サービス、OA・ネットワーク機器の販売、携帯端末の取次ぎ、Web 構築やセキュリティ対策などのインターネット関連サービスを提供しています。

また導入後の利活用等、経営をサポートする「アイコン」サービスをお客様との接点を強化するサービスと位置付け、その普及に特に注力しています。

詳しくは、ホームページ(<http://www.forval.co.jp/>)をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社フォーバル
広報室

山田 晃之、萩原 啓一、田村 英治
TEL:03-6825-3407 FAX:03-3486-1740